まちづくり検討会議（前期)の取組内容

委員会	テーマ	選定理由
総務常任委員会	防災対策と 公共施設長寿命化計画を 活かしたまちづくり	防災については、近年、南海トラフ地震や首都圏直下型地震あるいは伊勢原断層による地震、大雨による風水害など、いつ災害が発生してもおかしくない状況にある。さらに住民の防災意識の向上や防災訓練においても女性の視点や参加者を増やし、地域性を考えた訓練内容にすることで、より実践的な訓練を推進することが必要であると考えられる。 また避難所にもなる公共施設についての長寿命化計画をさらに明確にしていくことが必要であるため選定した。
産業建設常任委員会	伊勢原の持つ 潜在的な能力を 活かしたまちづくり	本市は、平成28年「大山詣り」日本遺産に認定され、さらにミシュラン・グリーンガイド・ジャポンに大山阿夫利神社からの眺望が2つ星を獲得、「寄り道する価値がある」場所として、掲載された。 しかし、当市の観光スポットは、大山だけではなく、比々多地区には、三之宮比々多神社、塔の山緑地公園等、日向地区には、日向薬師宝城坊、日陰道等、史跡、観光スポット等が豊富に存在するが、それら資産を十分に活かしきれていない現状がある。各史跡、観光スポットを有機的に結ぶ周遊コース、駐車場、道路、物産店、休憩所等の整備が求められている。 観光客を呼び込み、滞在時間を長くし、賑わいを創出し、さらなる発展へとつなげるべく、本テーマを選定した。
教育福祉常任委員会	市民の健康寿命延伸に 向けたまちづくり	人生１００年時代、市民一人一人が生きがいをもって、健康で活力ある生活を送ることがこれまで以上に求められている。 若い頃から十分な体力を備え、健康な体力をつくることで、将来的な病気や介護の予防につながる。 また、介護認知症予防を含め、高齢者の生活を具体的にどう支援をすべきかが課題である。 今後、さらに高齢者の生きがいづくり、健康寿命を延ばすための健康・体力づくり、老後を安心して過ごすための介護予防が大切と考え、健康寿命を平均寿命に近づける取り組みをさらに強化する必要があるため選定した。

	項　目
議会運営委員会	１　対面演壇方式、委員会のインターネット中継実施に向けて詳細な検討を進める。 ２　議会ICT化による運営の効率化、分かりやすい議会、ペーパーレス化を進める。 　また、市民に市政説明する際の理解促進など、さらなる成果の拡大を模索する。 ３　会派より提案された視察内容の情報共有により、議会・議員の資質向上をめざす。

活動期間：令和元年5月から令和3年4月